

令和元年度 蓼科ケーブルビジョン株式会社 第1回番組審議会

番組審議委員

氏名	職業
塩澤 勝巳	公務員(立科町教育長)
関 英一	会社役員(設備工事会社)
藤田 秀信	自営業(飲食店)
佐藤 智恵美	会社員

議事録

○日時：令和2年2月26日(水) 15:00~17:00

○場所：蓼科ケーブルビジョン本社 会議室

○審議会委員 ・関 英一 ・藤田 秀信 ・佐藤 智恵美

○事務局 ・関 誉勝 ・関 俊之 ・中川 辰弥 ・大井 空

開会

1. 社長挨拶
2. 担当者より今年度の取り組みについて
 - 主な取り組みについて
 - 行事番組について
 - レギュラー番組について
 - 共同制作について
 - その他の取り組みについて
 - 立科町商工祭アンケートについて
3. 主な番組の視聴
4. 昨年の番組審議会で作された意見とその対応について
5. 今後の取り組みについて
6. 質疑応答
7. その他

閉会

○委員からの意見

意見	コロナウイルスの影響から、望月高校の卒業式の撮影が不可能だと言う事だが卒業式は映像資産である。なんとか記録を残せないか打診するべき。
----	--

意見	過去の映像を再放送する「タイムトラベルアワー」は年配の方が喜ぶ。飲み会などでも話題に挙げられる。今は昭和終わり頃の番組が多いがいろいろな年代のものをチョイスして放送してほしい。
返答	年代に加え、番組の種類（学校行事・町のお祭り等）もバリエーションが楽しめるよう、番組編成に気をつけたい。

意見	台風 19 号災害について、被災後のニュースで深刻さを再確認できた。その後の復旧情報についても取り上げてほしい。町民はどのような進捗かなど知らないので役場の人に教えてもらうなどして、定期的に復旧情報を後追いで教えてもらいたい。
返答	前向きに検討して取り組んでいきたい。

意見	SNS での発信は LINE を使うと良いと思う。また、町民に協力員を作り情報発信のお手伝いをしてもらうことも有効では。町と密接に関われる、ローカルなテレビ局の強みだと思う。
返答	現在、Facebook が機能していないこともあり、積極的に LINE 運用を勧めたい。プッシュ型のサービスは情報発信に有用。地域との協力体制をつくって上手く活用していきたい

意見	共同制作について、県縦断駅伝はよかった。県内市町村の知り合いが出ているとおもしろい。なかなか、現地に行くのが難しいものを生中継してくれるのはありがたい。
----	--

意見	まだまだ CM 営業に対し、周辺の企業は後ろ向き。積極的にアピールして利点を売り込んでいく努力をするべき。
返答	CM 営業の進め方について更に検討し、多くの顧客を獲得できるようにしたいと思う。

意見	ふらばーるバレーのようにマイナーなスポーツを放送するのは CATV ならではの。ルールを説明してくれるとよりおもしろい。
----	--

意見	番組全般に言えることだが、テロップを増やして欲しい。 耳の悪い年配の方も多くなってきている。わかりやすい番組作りを。
返答	前向きに検討していきたい。

意見	インターンシップのように、子ども・学生が番組作りの面白さを体験できれば良いと思う。
----	---

意見	ライブカメラについて、建設事務所が設置しているカメラなども活用して欲しい。また、防犯の観点から小学校などの子どもたちがいる所への設置もしてほしい。
返答	まもなく地域情報チャンネルの機器更新なので、そのタイミングに合わせて検討していきたい。

意見	来年度制作予定の「他ラジオ体操番組」について、町民に出演してもらうだけでなく、別のアプローチも考えたほうが良いと思う。例えば、地域の名所の前で踊るなど。
返答	番組の構成について検討を重ねたい。

以上

